

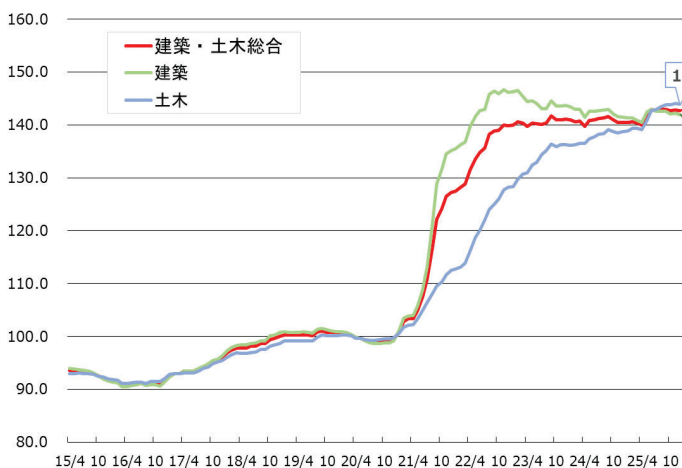
# 積算資料 建設資材価格指数

ER 一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総合的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

## 指数の推移（2025年12月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	142.7	-0.1	+2.2
建築	142.0	-0.2	+0.6
土木	143.9	-0.1	+5.2

指数の詳細な計算結果はこちら  
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



## 部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none"><li>●セメント：+9.4福岡</li><li>●コンクリート二次製品：+0.5大阪、+0.1東京</li><li>●木材：+1.7那覇、+0.2東京・名古屋・大阪、+0.1札幌・仙台・新潟・広島・高松</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●生コンクリート：-9.0名古屋</li><li>●普通鋼鋼材：-0.9那覇</li></ul>
建築	<ul style="list-style-type: none"><li>●セメント：+9.4福岡</li><li>●コンクリート二次製品：+0.1東京・大阪・高松</li><li>●木材：+1.7那覇、+0.2東京・名古屋・大阪、+0.1札幌・仙台・新潟・広島・高松</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●生コンクリート：-8.9名古屋</li><li>●普通鋼鋼材：-1.2那覇</li></ul>
土木	<ul style="list-style-type: none"><li>●セメント：+9.4福岡</li><li>●コンクリート二次製品：+1.2大阪、+0.1東京</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●生コンクリート：-9.1名古屋</li><li>●普通鋼鋼材：-0.5那覇</li></ul>

## 指数集計対象資材の市況

12月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比マイナス0.1ポイントの142.7となった。また、建築、土木両指数も揃って前月を下回る結果となった。すべての指数が前月比マイナスとなるのは4月調査以来8か月ぶり。名古屋地区の生コンクリートがm3当たり1,000円下落したことが指数のマイナスに寄与した。名古屋地区では、需要減を背景とした一部のメーカーによる数量確保の動きが価格競争の激化を招いている。ただし、全国的に見ると今回の下落は局地的なもので、堅調な生コンクリート市況の潮目が変わったとは言い難い。福岡地区では、主原料であるセメントが1,000円値上がりするなど、コスト高の状況は継続しており、今後も市況は総じて堅調に推移するとみられる。そのため、指数は先行きも底堅く推移しよう。

## 指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 TEL.03-5777-8212